



ご意見・ご要望お寄せください！ 公式LINEからはこちら →



## 01 学校給食費無償化 高齢者外出支援を！

### かばさわ議員 代表質疑



●かばさわ議員 企業立地予算増額の10億円を見直し、国が実施するまで中学校給食費無償化、半年間実施6億円と高齢者が100円でバスに乗車可能な外出応援制度創設に4億円に振り向けるなど、今市民が切実求めている給食費無償化と高齢者外出支援・地域公共交通支援の強化に取り組むべきではないか。

■市長 企業立地促進事業は、税源のかんよう、雇用の創出及び地域経済の活性化に資するとともに、本市における今後の拠点性の維持・発展に必要不可欠なものであり、また、福祉・教育分野への支援など、様々な施策への財源を生み出す重要な事業であることから、見直しは考えていない。なお、新年度予算として、経済・教育・交通など、各分野の施策の充実を図るため、限られた財源のもと、必要性かつ事業効果が高いものと判断した案件について事業実施することとし、新年度予算案を計上している。

## 02 新児童相談所の早期整備を！



●かばさわ議員 これまで児童相談所の2か所化に向けた取組、発達障害者支援センター等との併設などを繰り返し提案してきたが、今後整備される新児童相談所における概要について伺う。

■副市長 中央区末広3丁目に整備を予定している新児童相談所は、中央区、若葉区、緑区を所管する東部児童相談所であり、一時保護所を併設した施設を予定している。

## 03 災害時の避難所トイレの拡充を！

●かばさわ議員 能登半島地震における避難所において、最も困る問題がトイレであると指摘されてる。これまでマンホールトイレの整備を求めてきたが、整備状況と今後の避難所トイレ整備の拡充について伺う。また、大規模災害が発生した際、被災地にトイレトレーラーを派遣することで、相互支援のネットワーク化を目指すという取組で県内では君津市がすでに導入している。能登半島地震の避難所のトイレ環境としても機能したトイレトレーラーを導入すべきだが、見解を伺う。



君津市トイレトレーラー

■副市長 マンホールトイレについては、今年度中に全ての市立学校への整備を完了し、今後は、指定避難所となっている県立高等学校等への整備を進めていく。また、トイレトレーラーについては、能登半島地震で活用されていたことは承知しているが、本市のし尿処理体制など、検証する必要があると認識している。

# 04 京葉線のダイヤ見直しに向け再協議を！



JRへの申入れ

●かばさわ議員 京葉線の快速縮小問題においては、2月8日に日本共産党千葉市議団は、JR東日本千葉支社を訪問し、京葉線の朝夕の快速電車存続を求める要望署名2327筆を提出して、ダイヤの見直しを強く申し入れたところ、JRからは「遠距離利用者の速達性確保に向けたダイヤ見直しを検討する」と回答があった。京葉線ダイヤの早期見直しに向けて、市長においても再協議すべきと考えるが、要望内容とJRとの協議見通しについて伺う。

■市長 JRからは、ダイヤ改正の影響に思いが至らなかった点があったことを踏まえ、年1回のダイヤ改正のタイミングにとらわれず、今後京葉線の運行形態のあり方について線区全体を通じ、柔軟に対応を深めていくとの説明があったことから、東京方面と幕張新都心・蘇我副都心との相互の速達性や拠点性を確保したダイヤの復活に向け、引き続き、JRにおいて検討がなされているものと承知しており、速やかにダイヤ復活が具体化されるよう、継続的・精力的にJRと協議を進めていく。

# 05 先生が足りない！教員未配置解消を！

●かばさわ議員 市内中学校で5カ月間も教科担任がいなく、教頭先生の授業や自習が多いという生徒からの声もあるが、最新の教員未配置の状況について伺う。また、教員不足解消に向けて産休・育休代替教員、正規休暇等補助教員及び専科教員を拡充すべきではないか。

■教育長 先月時点で、担任の代替教員の未配置は20人となっており、当該校では教務主任等が担任を代行している。未配置解消に向けて、今年度は産休、育休を取得予定の教員に対し、年度当初から前倒して代替教員を配置した。新年度は、対象職種を養護教諭、栄養教職員及び学校事務職員まで拡充する。また、教員が病気休暇等を短期間取得した際に緊急に対応できるよう、正規休暇等補助教員を2人から6人に拡充する。さらに、専科指導のための非常勤講師を110人から120人に拡充する。

# 06 救急車の病院搬送時間短縮を！

●かばさわ議員 本市は救急車の病院搬送までの時間は平均56分と20政令市中20位と、依然として現場及び病院までの到着に時間がかかっていることが課題である。今後増える救急需要や災害時への対応強化が必要であるため、救急車両の増車に取り組むべきではないか。

■副市長 病院収容時間の短縮への取組みとしては、救急情報共有システムの機能強化等について検討を進めている。また、救急需要対策は、今年度、部隊運用の見直しを行い、運用に支障がないことから、本年4月より正式に救急隊1隊を増隊することとしている。



# 07 青葉病院の成人精神科病棟再開を！

●かばさわ議員 青葉病院における成人精神科病棟の早期再開を求めてきたが、成人精神科病棟の再開について伺う。

■病院事業管理者 成人の精神科は、常勤医が2人となり診療を縮小していたが、常勤医3人体制を確保できる見込みとなったので、令和6年4月1日から、入院及び初診患者の外来診療の再開を予定している。

実現

鎌取市宮住宅前  
鎌取5号線  
歩道改良完了



実現

誉田中学校  
駐輪場増設完了



日本共産党 千葉市議会議員 かばさわ洋平

【かばさわ事務所】〒266-0005 緑区誉田町2-24-275 TEL 292-7764 Email takumiuna@gmail.com

【日本共産党千葉市議団】〒260-0026 中央区千葉港1-1(千葉市議会内) TEL 245-5484

